

## ◆特集号の論文募集のお知らせ◆

### 「半導体電力変換研究会」特集

産業応用部門論文委員会  
半導体電力変換技術委員会

論文誌D（産業応用部門誌）では平成22年（2010年）1月号に「半導体電力変換研究会特集」を企画しています。特集号では半導体電力変換研究会での発表論文を特集論文としてまとめて掲載いたします。過去に半導体電力変換研究会で発表された内容を、研究会における質疑やコメント等の討議結果を参考に、論文投稿の手引きに従った論文として完成させていただき、奮ってご投稿ください。なお、査読の関係や応募件数多数などの都合で特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了解ください。

記

投稿締切：平成21年3月25日（水）

投稿方法：<https://submit.iee.or.jp/D/cgi-bin/sstk-top.cgi>より電子投稿してください。

注意事項：投稿票への必要事項の記入に加えて、「D部門誌平成22年1月号半導体電力変換研究会特集号、研究会論文番号（SPC-〇〇-〇〇）」を必ず記してください。研究会での発表論文番号が無いと特集号論文として扱うことができませんので、ご注意ください。

問合せ先：竹下 隆晴 名古屋工業大学大学院工学研究科

TEL：052-735-5441, FAX：052-735-5342, E-mail：take@nitech.ac.jp

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は日本人科学者が物理や化学の分野でノーベル賞を受賞するという喜ばしいニュースがありました。今年も科学技術の分野で明るいニュースをたくさん耳にする年になるよう期待したいと思います。

新年号では巻頭言として、日本大学 西田保幸先生から「初の海外学会との合同国際研究会」と題し、韓国の学会と合同で研究会を開催するという新しい試みについてご紹介いただきました。このようなアジアを中心とした学会活動の「国際化」はまさに本年の流れになるのではと感じております。

学界情報では日立製作所 高橋暁史様に昨年9月にポルトガルのヴィラモウラで行われた ICEM08 についてご報告いた

できました。資料コーナーでは部門別のCO<sub>2</sub>排出量の推移と題してCO<sub>2</sub>の分野別排出量の現状についてNTT環境エネルギー研究所の田中憲光様にご紹介いただきました。その他、産業応用フォーラムや平成21年部門大会、特集号の論文募集などにつきましてもご案内させていただいております。

編修広報委員会ではホームページ関連の業務を担当させて頂いておりますが、このニュースレターを含めD部門における様々な活動や情報を積極的に発信し、学会活動の「国際化」を目指す一端を担うことができればと考えています。

最後に、ご多忙中にもかかわらず原稿を執筆していただきました皆様、編集作業を行っていただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

エディタ 関 弘和（千葉工業大学）